



# ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会 2008年（平成20年）10月25日号 No. 1444

## 目次

■ <b>世界金融不安とロシア自動車市場</b> .....	坂口 泉 1
■ <b>トピックス</b> .....	8
フリスチェンコ大臣、いすゞ自動車を訪問／8	
日露政府間委員会の会合／8	
原子力機構がカザフ大と人材育成で覚書／8	
住商関連会社がウズベクでネット事業／8	
■ <b>エトセトラ</b> .....	9
『調査月報』2008年11月号のご案内／9	
「日露エネルギー・環境対話in新潟」開催のご案内／9	

## 世界金融不安とロシア自動車市場

### はじめに

9月中旬のリーマン・ブラザーズの破綻をきっかけに世界中に広がった金融不安はロシアにも大きな影響を及ぼしている。まず真っ先に影響を受けたのは、銀行部門である。外国の金融マーケットから積極的に資金調達を行っていたロシアの銀行部門には、世界的金融不安の直接的影響が及び、金利の高騰と深刻な流動性不安という現象が生じた。

また、ロシア企業の株価も暴落し、2008年5月のピーク時には2,450ポイントを超えていたRTS（ロシア取引システム）指標が、10月22日時点で665.78ポイントにまで落ち込んだ。

さらに、これまで外国の金融マーケットで株式などを担保に積極的に融資を獲得していたロシア大手資本の中にも、いわゆるマージンコール（担保の減額分の補填要求）がかかり、資金繰りが急激に悪化するところが出始めている。

影響は、ロシアの自動車市場にも及び始めている。たとえば、商用車を中心に、純国産車の売行きが最近急激に悪化している。外国新車はまだ比較的好調な売行きを示しているが、8月、9月と2ヵ月連続で、前年同月比の販売台数の伸びが顕著に鈍化した。

当会では、このほど発行した『ロシアNIS調査月報』11月号で、「日ロ自動車ビジネスはどこまで広がるか」という特集を組んでいるので、ぜひご利用いただきたい（「エトセトラ」のコーナー参照）。速報の今号では、この特集への補足という意味も込めて、現下の金融不安がロシアの自動車生産および販売に与えている影響について報告する。